



「地域のお宝」たんけん隊 パートⅡ (2・3年生)

大淵小学校

だいすき大淵!! 自然 お祭り お寺や神社

今年も2・3年生が地域に出かけ、たくさんの発見をしてきました

大淵の子どもたちは、大勢の地域の方々から支えていただきながら、たくさんのことを学んできました。地域に出かけるたびに「私たちのまち 大淵」がどんどん好きになりました!

江口のほうれんそうはおいしいので、中央卸売市場でも大人気です。



松尾芭蕉の句を刻んだ石碑。「稲妻や」の句碑があるのは、日本でここだけだそうです。



獅子舞は神様への感謝を伝え、地域の人たちの幸せを願って行われているんだ。

え〜っ!この垂れ下がっているものが、この木の根なんですか!?



「大淵の池」には生き物がいっぱい!春になると鯉もぼってきます。

たくさんの神社とお寺は、大淵の大切な「お宝」だね。



地域の人たちは優しく、何でも知っています。ぼくたちも地域のことをもっともっと知りたいな!

「お茶クラブ」の活動

地域在住の茶道の先生から教えていただき、お世話になった地域の方々、家の人を招いて「お茶会」をしました。喜んでもらえて、嬉しかったです。



江口にある林徳寺 住職の眞谷さん



林徳寺には松尾芭蕉が立ち寄ったと言われています。その際に「稲妻や 顔のところが すすきの穂」という句を詠みました。「続猿蓑」に掲載されています。この句の句碑は、日本中で林徳寺にしかありません。江戸時代には、林徳寺で毎年9月18~19日に、芭蕉祭りが盛大に行われました。それ以来、江口では俳句が盛んでした。

子どもの声



大淵について調べていくなかで新しい発見がありました。それは「夏祭り」です。400年も続いているそうです。獅子舞もあり、地域の人たちの幸せを願って行われていることが分かりました。こんなすてきな地域に住んでいて幸せです。



たくさんお話を聞いたり、探検したりしましたが、一番驚いたのは地名のことです。「江口」は江戸時代にここを管理していた武将の名前だそうです。そんな昔からこの大淵があったので、お宝がいっぱいあるんだなと思いました。

だいすき大淵!! 地域の「お宝」を俳句で発信

全校児童が「地域のすばらしさ」を「五・七・五の世界」で表現しました!

大淵ではかつて俳句づくりが盛んでした。地域のお寺には芭蕉の句碑、「句会」が行われた記録が残っています。学習発表会で生活科や総合での学びを発表し合った子どもたち。次は、大淵の「お宝」を伝える俳句づくりに取り組みました。



全校での俳句づくり教室

地域のすばらしさを俳句で伝える活動は2年目となります。今年も俳句の田村先生から俳句づくりの基礎を教えていただき、作品の添削をしていただきました。

田村先生は、俳句づくりに大切なことを笑顔で優しく教えてくださいます。



学習参観の日、全部の学年で「親子俳句づくり教室」を行いました。



すごい!みんな上手にできたね~。

体育館前の壁に、全校の俳句作品を飾りました。これを見ると、大淵にはたくさんすばらしいところがあることが分かります。



子どもたちの作品を紹介します

阿賀野川 桜のひっこし お手強い
ひまわりが 見回りしてる いつまでも
赤とんぼ お米のにおい すきなんだ
紅の 木の葉と心 響き合う
ししまいは 江口みんなの 神さまだ

行き先は 風が知ってる 白わた毛
河川敷 夏はみどりの じゅうたんが
どんぐりが 落ち葉の下で ねむってる
いもほりで みんなのこころ つなげるよ
帰り道 白鳥いっしょに 急ぐ空

俳句の先生 田村さん



コーディネーターの小林さんが持ってきてくださった大淵小の俳句コーナーの写真を見て、とっても楽しくなりました。皆さんが大淵をたいへん誇りに思っていて、大好きなことがずっしりと胸にきました。こんなにすてきな皆さんと俳句をつくることができ、嬉しく思っています。また逢いましょう。

子どもの声



自分たちの地域を俳句で紹介するのは、とても楽しかったです。大淵のよいところをたくさん見つけ、いっぱい俳句にしました。大淵は自然がたくさんある、きれいなところなんです。大淵のよさを俳句で伝えるのは、いい活動だと思いました。



俳句づくりをして、「大淵にはいいところがたくさんあってすごいな!」と改めて分かりました。全校の俳句を壁に貼ったのを見たら、大淵のよさや風景がたくさん思い浮かんできました。みんなの俳句を大勢の人に見てもらいたいです。